

## 研究発表もうしこみフォーム

氏名：ウニバト

氏名のローマ字表記：Unibat

所属：千葉大学 人文公共学府 博士後期

専門分野：人文公共学、人類学

発表のタイトル：気候変動下における定住牧畜民の井戸問題—内モンゴル自治区スニド左旗の事例から

発表要旨：

本発表の目的は、内モンゴル自治区スニド左旗の気象データとリモートセンシングデータ、フィールド調査に基づいて、気候変動下における牧畜民の井戸問題の実態を明らかにすることである。調査地では1995年までは数世帯ごとに土地所有権が付与され、その牧地内には必ず井戸があった。しかし、1996年に各世帯に土地所有権が分配されると、その分配された牧地内でしか放牧できなくなった。その結果、牧地内に井戸がある世帯とない世帯が生じた。現在、調査地では全110世帯のうち、約20%にあたる24世帯の牧地に井戸がない。井戸は人間の飲用・生活用水としてだけでなく、家畜の飲用水源として欠かせないものである。そのため、井戸のない世帯は別世帯の牧地にある井戸から必要な水を運んで来なくてはならない。発表者は2021年3月に井戸のない5世帯にフィールド調査を行った。

井戸のない世帯は水の運搬にかかる時間、燃料費、運搬手段、使用料など大きなコストを負担せざるをえなくなっている。さらに干ばつの影響で、調査世帯の取水していた深さ5mの開放井戸が2018年に枯渇したことによって、より遠くから水を運ばざるをえなくなり、運搬コストが増加した。他方で、2014年からこうした井戸のない世帯を対象に政府による深井戸の設置が進んでいる。調査世帯のうち2世帯には牧地に水深約100mの深井戸が設置された。しかし、水質が悪く、家畜が死亡し、今は使っていない。その原因は近隣にある化学工場による水汚染ではないかと牧畜民は考えている。土地の分配による井戸の有無は牧畜民の牧畜生活に大きな影響を与えている。気候変動への対応能力が弱められ、定住牧畜の脆弱性が高まった。